

第7回 教育コンテンツ作成 WG 会議
議事次第

日 時 : 令和6年1月26日(金) 10:00~12:00(予定)
形 式 : Web 会議 (Zoom)
場 所 : 日本薬学会長井記念館 4F 事務局 (ホスト会場)
議 事 : 1 e-learning 教材原稿データの確認
2 その他

< 配付資料 >

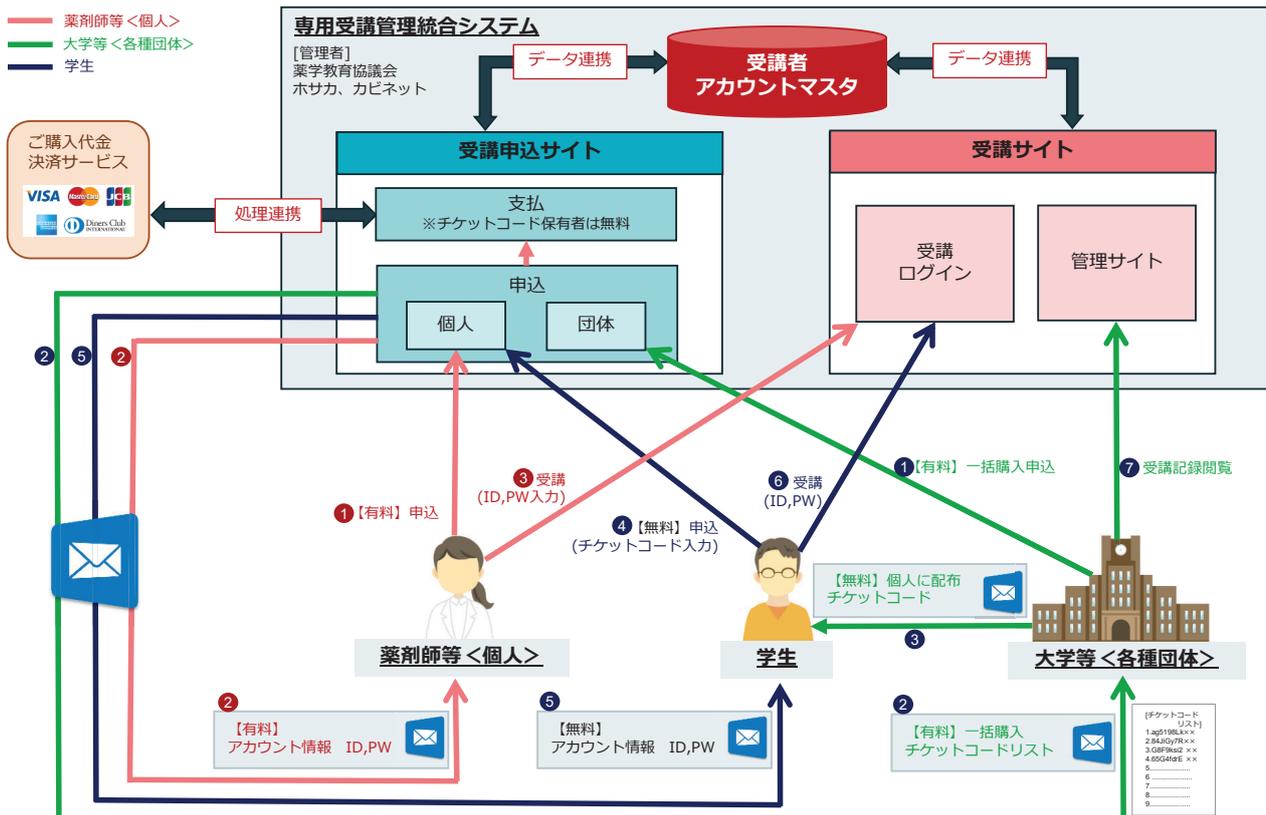
- e ラーニング利用者アカウント管理方式の検討 (株)ホサカ、(株)カビネット)

< 視聴予定 >

- ①「総合的に患者・生活者をみる姿勢」と②「情報・科学技術を活かす能力」の二つの e-learning 教材の分割表示について

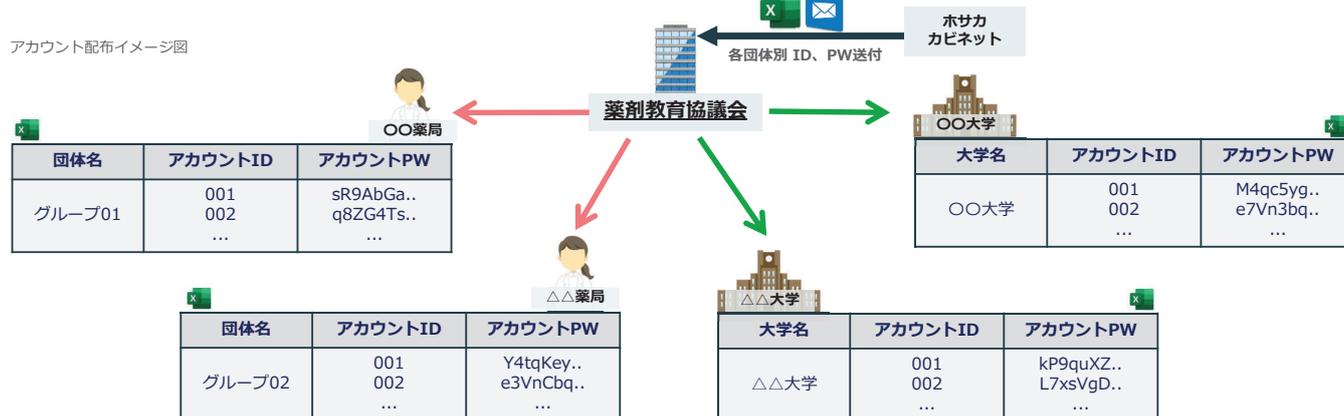
	協議会での一括管理	各大学など各組織での管理	専用システム開発
①管理者権限	協議会・弊社（システム管理）	各組織にそれぞれ付与	協議会・弊社（システム管理）
②アカウント情報の収集	各組織よりエクセルデータなどでアカウント一覧を協議会に提供	? 各組織にて対応	利用者 自らサイトにて登録
③システムへの導入方法	プログラム等で一括導入（弊社にて作業対応）	? 各組織にて対応	利用者 自らサイトにて登録
④アカウント作成完了通知	弊社⇒協議会	? 各組織にて対応	サイトから自動メールなどで利用者に直接通知
⑤サポート対応	弊社⇒協議会	弊社⇒協議会⇒各組織	方法未定 (運用サポートは弊社)
【特記事項・総評】	<p>●2023年度（1月～3月予定）では、実施が短期間であることもあり、本方式が現実的</p> <p>[実施可（現実的）]</p>	<p>●本システム（2023年度）での提供方法では、同一システムでの分割管理することは多くのリスクがあり、事実上不可能</p> <p>[実施困難]</p>	<p>●利用者が自ら専用サイトにて登録作業を行うため、運用管理者が個別に対応することが無い、ほぼ自動化</p> <p>[最適] ※ただし、別途システム開発が必要 (2023年度の対応は難しい)</p>

■ 受講者アカウント管理方式 システム概念図



以下の方法でアカウントを作成することをご提案いたします。

団体数（大学など）	100 団体
アカウント配布数	100 個 / 1 団体ごと
アカウント作成単位	1 団体ごとに作成
アカウントID、PW	自動採番



各大学、グループごとにExcel形式でアカウントデータをお渡しいたします。

【受講サイト（案）】

受講サイト名	大学における医療人養成の在り方に関する調査研究
ドメイン名	e-pharmaceutical.jp (https://e-pharmaceutical.jp/) e-pharmacy.jp (https://e-pharmacy.jp/)
セキュリティ	SSLサーバ証明書取得

【eラーニング教材】

教材アップロードのタイミング	受講サイトサーバの準備ができ次第、承認された教材から順に掲載
アップロードする教材の完成度	各WGの先生のご判断で、一時完成教材のアップも可能 (ナレーションなし、イントネーション未調整 など)
教材制作	制作、ブラッシュアップなどは必要に応じて3月末日まで対応

第1章.

Society 5.0をはじめとする 未来社会のイメージ



令和5年度 文部科学省 大学における医療人養成の在り方に関する調査研究



令和4年度改訂版にて加えられた項目

令和4年度薬学教育モデル・コア・カリキュラムは、医学・歯学・薬学3領域で同時改訂され、キャッチフレーズとして「未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつなぎ活躍できる医療人の養成」を掲げています。今回の改訂では、生涯にわたって目標とする「薬剤師として求められる基本的な資質・能力」を掲げた学修成果基盤型教育（OBE）を柱とし、薬学教育の質保証の観点から改革が進められました。

また、今回の改訂では、今回の改訂では、生涯にわたって目標とする「薬剤師として求められる基本的な資質・能力」が掲げられ、このうち、9つの資質・能力は、医学・歯学・薬学で共通化されました。唯一異なるのは「7.薬物治療の実践的能力」です。医学・歯学では「患者ケアのための診療技能」となっており、薬剤師に薬物治療の実践的能力が求められていることを示しています。

さらに新たな資質・能力として、「総合的に患者・生活者をみる姿勢」と「情報・科学技術を活かす能力」が加えられました。

薬剤師として求められる基本的な資質・能力

1. プロフェッショナリズム
2. **総合的に患者・生活者をみる姿勢**
3. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢
4. 科学的探究
5. 専門知識に基づいた問題解決能力
6. **情報・科学技術を活かす能力**
7. 薬物治療の実践的能力
8. コミュニケーション能力
9. 多職種連携能力
10. 社会における医療の役割の理解

次のページでは、薬学教育モデル・コア・カリキュラムの7つの大項目の構成、区分について解説します。

令和4年度薬学教育モデル・コア・カリキュラムは、医学・歯学・薬学3領域で同時改訂され、キャッチフレーズとして「未来の社会や地域を見据え、多様な場や人をつなぎ活躍できる医療人の養成」を掲げています。今回の改訂では、生涯にわたって目標とする「薬剤師として求められる基本的な資質・能力」を掲げた学修成果基盤型教育（OBE）を柱とし、薬学教育の質保証の観点から改革が進められました。

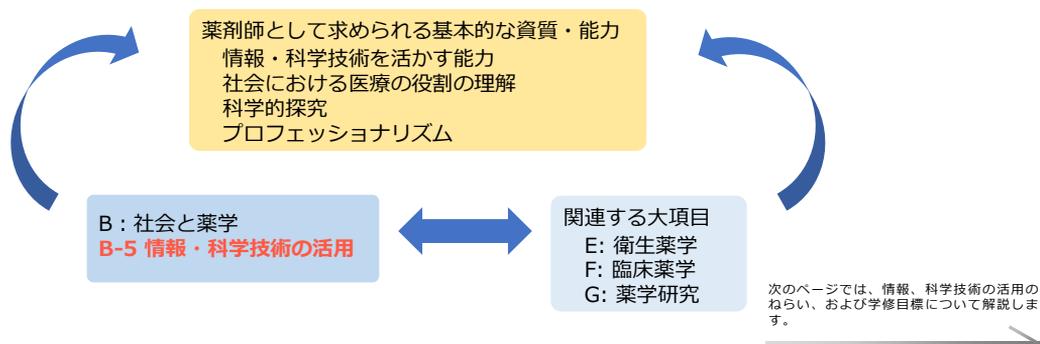
また、今回の改訂では、今回の改訂では、生涯にわたって目標とする「薬剤師として求められる基本的な資質・能力」が掲げられ、このうち、9つの資質・能力は、医学・歯学・薬学で共通化されました。唯一異なるのは「7.薬物治療の実践的能力」です。医学・歯学では「患者ケアのための診療技能」となっており、薬剤師に薬物治療の実践的能力が求められていることを示しています。

さらに新たな資質・能力として、「総合的に患者・生活者をみる姿勢」と「情報・科学技術を活かす能力」が加えられました。

今回のe-learningで扱う内容と薬学教育モデル・コア・カリキュラムとの関係

今回のe-learningで扱う内容は、大項目「B:社会と薬学」の中に含まれる中項目「B-5:情報・科学技術の活用」と密接に関連しています。

この「B-5:情報・科学技術の活用」は、大項目「A 薬剤師として求められる基本的な資質・能力」の[情報・科学技術を活かす能力]、[社会における医療の役割の理解]、[科学的探究]、[プロフェッショナリズム]を培う学修であり、大項目の「E:衛生薬学」、「F:臨床薬学」、「G:薬学研究」における学修につながっています。



今回のe-learningで扱う内容は、大項目「B:社会と薬学」の中に含まれる中項目「B-5:情報・科学技術の活用」と密接に関連しています。

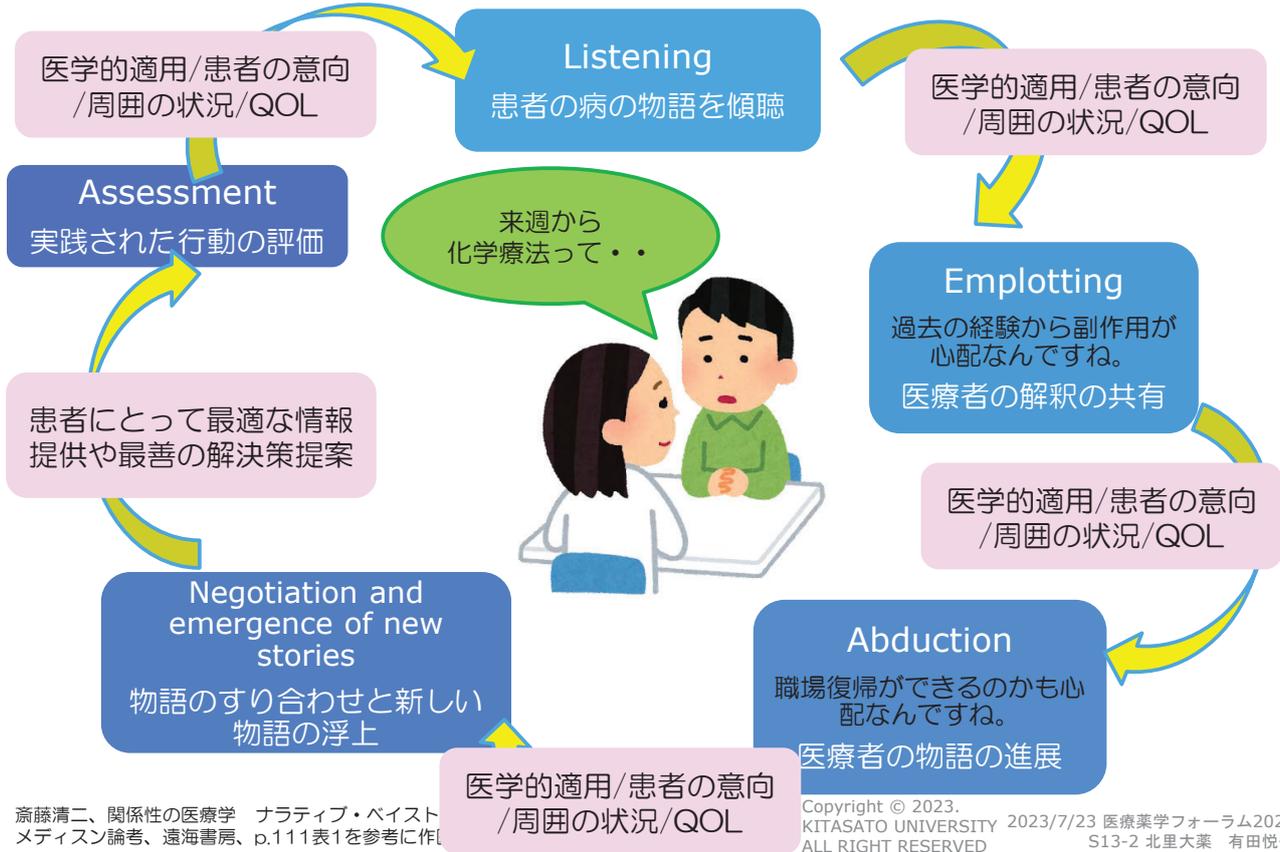
この「B-5:情報・科学技術の活用」は、大項目「A 薬剤師として求められる基本的な資質・能力」の[情報・科学技術を活かす能力]、[社会における医療の役割の理解]、[科学的探究]、[プロフェッショナリズム]を培う学修であり、大項目の「E:衛生薬学」、「F:臨床薬学」、「G:薬学研究」における学修につながっています。

2040年以降も 人や社会に求められる薬剤師を目指して ～薬学生に必要とされるヒューマニティ教育～

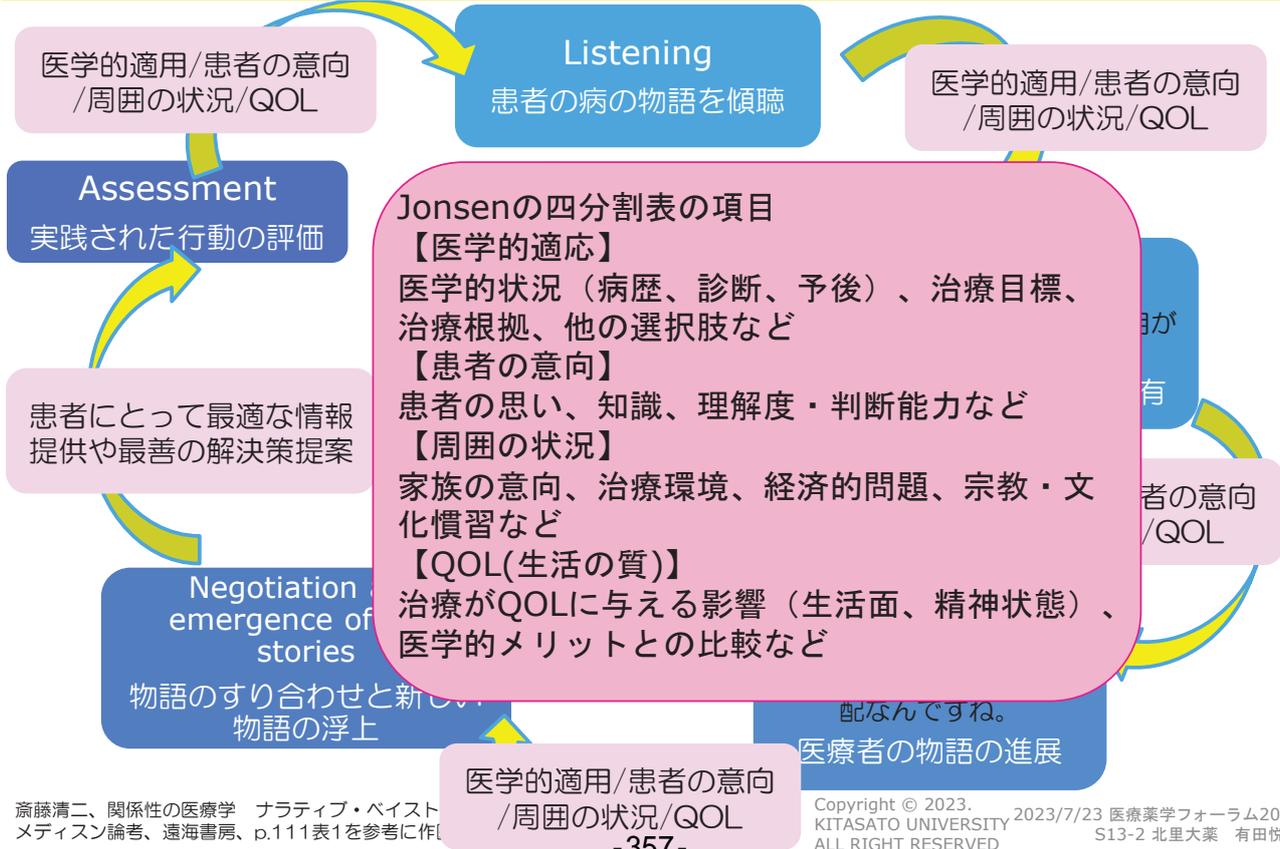
北里大学薬学部 薬学教育研究センター医療心理学部門
教授・博士（臨床薬学）有田 悦子
薬剤師・臨床心理士・公認心理師

 A2 「総合的に患者・生活者をみる姿勢」

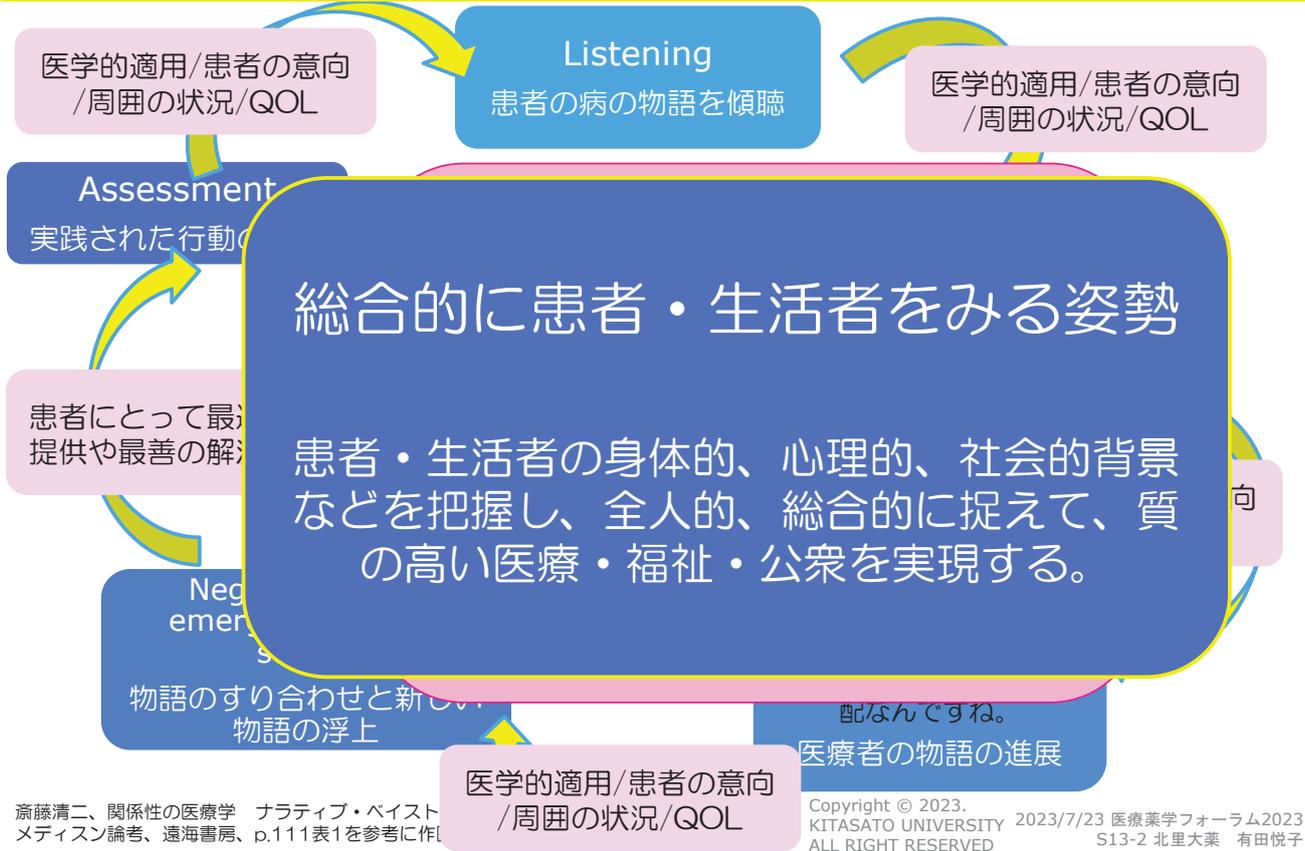
ナラティブコミュニケーションを取り入れたヒューマニティ教育例 「化学療法が不安な」患者さんへの対応



Bをベースに、GをエビデンスとしてC・D・Eの知識を活用し、Fとして統合



Bをベースに、GをエビデンスとしてC・D・Eの知識を活用し、Fとして統合



斎藤清二、関係性の医療学 ナラティブ・ベイスド・メディスン論者、遠海書房、p.111表1を参考に作

2040年の社会のイメージ「人間性の再興・再考による柔軟な社会」

人間らしさを再考し、多様性を認め共生する社会

リアルとバーチャルの調和が進んだ柔軟な社会

無形/個人

無形/社会

有形/個人

有形/社会

